

NCGM 国際医療協力局の 横堀 雄太医師が「2021年度 一般社団法人日本国際保健医療 学会 奨励賞」を受賞しました



本賞は、国際保健医療分野で優れた研究業績を上げた若手研究者に授与されるものです。

対象論文は『Analysis of causes of death among brought-in-dead cases in a third-level Hospital in Lusaka, Republic of Zambia, using the tariff method 2.0 for verbal autopsy: a cross-sectional study』ザンビアの医療施設における死亡例の3分の1以上は到着前死亡例であり、その死因の分析が十分に行われていなかった。死亡診断書に記載された情報は国の人口動態統計に反映されるため、より正確で完全な死因データが求められます。本研究では、到着時死亡症例の死因について、自動口頭剖検プログラム(SmartVA)により同定し、死因と死亡診断書に記載された死因を比較することでその同定率を評価したもので、死亡登録システムを強化するため、SmartVAが活用できる可能性を示唆したものです。

<https://bmcpublihealth.biomedcentral.com/articles/10.1186/s12889-020-08575-y>

